

一般国道 433号 永代橋工区

【位置図】



【事業箇所概略図】



【事業目的】

一般国道433号は、広島県大竹市から広島県三次市に至る主要な幹線道路である。

永代橋は緊急輸送道路上の橋梁であり、丁川を跨ぐ渡河橋であるが、橋台・橋脚ともに流水の影響によりコンクリートの欠損がみられることなどから、致命的な損傷や重大な事故の発生を未然に防止するため、補修を行うものである。

【施 工 前】



【事業概要】

事業箇所: 広島県山県郡安芸太田町加計

橋梁形式: 桁橋

橋 長: 21m

架設年次: 1932年

事業内容: 橋梁補修工

完成年度: 令和元年度

【施 工 後】

